

請願第2号

中間市国民健康保険税値上げの中止を求める請願

中間市議会議長様

(請願者代表)

住所 中間市 [REDACTED]

氏名 青木 勝弘 (印) 外3/21名

(紹介議員) 宮下 寛 (印)

青木 孝子 (印)

田口 澄雄 (印)

【請願主旨】

市長は、9月11日の第2回中間市国民健康保険運営協議会に、平成27年度からの国民健康保険税率見直しの諮問をしました。

税率見直しの根拠としては、国民健康保険財政がこの5年間の平均でも、年当り9900万円の赤字であり、平成29年度からの都道府県を単位とする広域化の動きの中で、これ以上の累積赤字を積み上げるわけにはいかないというのが、その主な理由です。

また中間市の国民健康保険税については、県内平均と比べても低額な上に、近年引き上げを見送ってきた経緯もあり、広域化の前に調整したいとの説明がなされました。

中間市の国保運営で、他市町と一番の相違点は、国保に対する一般財政からの補填が殆どなされていないというところにあります。

日本全体の国保の赤字額との比較でも、中間市の約1億円の赤字額は、国の財源補填の後退から、当然出るべくして出た金額ですが、他市町並みの一般財源の補填がなされていれば、元来ありえない赤字です。これを全て、今回の引き上げのように国保加入者の負担で賄おうというには、無理があります。

特に、年金の引き下げ、消費税の増税、生活必需品の高騰、介護保険料の改定、後期高齢者医療の改定等、市民にこれ以上の負担を求める状況にはありません。地域経済に及ぼす、負の影響も多大です。つきましては、次の事項について要求します。

【請願項目】

1. 国民健康保険税の値上げを、行わないこと。
2. 毎年、赤字相当分の一般会計からの法定外繰入を実施すること。

